

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南木曾町大学連携事業
事業主体 (連絡先)	南木曾町 TEL : 0264-57-2001
事業区分	(1)地域協働の推進 (3) 教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	540,640 円 (うち支援金 : 432,000 円)

事業内容

南木曾町と連携協定を結んだ大学より参加学生を募り、大学生目線での南木曾町の魅力を発見していただいた。町の観光名所・桃介記念館の案内人が説明する際に役立つ関係人物相関図パネルやポストカードの制作、事業承継をテーマにして地域関係性のインタビューをまとめた「移住冊子」の制作などを行った。

取り組みを通じ、観光や移住、地域との交流を経て、地域の課題を浮き彫りにして一つの成果としてまとめ上げることができたのではないかな。

次年度以降、参加する学生は変わっても大学との連携は続き、今まで取り組んできた南木曾での実績は蓄積され引き継がれていく。



【研修の様子】

【目標・ねらい】

- ①南木曾町の観光・移住面での魅力の発信
- ②地域住民らと交流することで深まる関係人口づくり

事業効果

- ①南木曾町の観光・移住面での魅力の取りまとめ
説明パネル、冊子を作成し配布等により周知した。
観光施設を訪れた観光客へポストカードを配布し周知した。(1000枚)
移住冊子 300部を参加大学へ 100部、協力店舗 50部、地域住民 20部、役場他関係機関 80部配布した。移住希望者へも配布する。
- ②地域住民らと交流することで深まる関係人口づくり
関係人口の増加 R1 : 4人 → R4 : 14人
交流人口の増加 R1 : 0人 → R4 : 14人

※自己評価【B】

【理由】

観光プログラムについては途中で成果とする目標が変更となったが、感染症対策をとり、期間中体調不良者も無く目的通り実施することができた。

今後の取り組み

連携している大学と意見交換を行い、大学側の意見も反映していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある